

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドサポートもりやま			
○保護者評価実施期間	R7年 11月 1日 ～ R7年 12月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数)	28名
○従業者評価実施期間	R6年 11月 1日 ～ R7年 12月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数)	13名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 12月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども達を楽しめる様に色々な活動を行っている	・レクレーション係を中心に活動内容を決めている ・社会体験、SST、リトミックの実施を行っている。 ・毎朝MTG時に活動内容、職員配置、注意点についてのMTGを行っている	・活動内容は意識的に決められているが、活動の質が上げられるよう、常に話し合いを行っていく ・職員の配置や、子どもの対応については毎朝周知、共有をしていく
2	・保護者さんに寄り添う姿勢	・保護者面談にて保護者さんの意向、思いを聞き取り支援個別支援計画に反映させている ・毎回送迎時に児童の様子を伝え、保護者さんから悩みや相談があった時は個別に時間を取り話し合いをしている	・どの職員も同じ支援ができるように、保護者に共有して行く
3	専門的支援の強化	・事業所内にスパイダーを設置し、リハビリ等に活用する場を設けた ・保護者さんからの意見を参考にし、専門職が計画書を作成。それぞれにあったプログラムを作りSSTやリハビリを行っている	・スパイダーに関しては定期的に実施することが出来るように全職員が勉強会を通じて利用の仕方を学び実施に繋げていく ・プログラム内容を全体で共有することで、子どもへの共通理解を深めている

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ペアレントトレーニング等保護者に向けた研修が現在行われていない。子どもの対応と一緒に考える上で必要な研修だと思われる	・事業所として研修が企画できていない ・以前ペアレントトレーニングを行っていた際に参加を募っていたが、参加する方がほばいなかった所から実施することがなくなってしまっている	・年間計画を立て、事業所内で研修会の企画をする、もしくは外部講師に依頼する
2	・地域交流	・地域のごみ拾いや、イベントを手伝ってもらえるように依頼はしているが、交流とまではいかない ・事業所の認知不足、放デイ・児発に対する認識不足	・夏祭りなど地域の方参加型にして、地域交流を図る ・地域の方に放デイ、児発の活動内容を知ってもらう機会を作る ・活動の中で地域の児童館や公園に行き、地域の子供達と関わる機会を作る
3	・災害マニュアル等、事業所で行われていることが保護者さんに周知共有できていない	・事業所内だけでして終わっている ・保護者に周知することが出来ていない	・災害訓練など行った時はSNSで発信したり、口頭で保護者に伝える ・契約時や保護者面談時にどのようなマニュアルがあるか、研修を実施しているかを説明する

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 チャイルドサポートもりやま

公表日 R8年 1月 5日

利用児童数 30名

回収数 29名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	1			・ベッドが入るトイレ尾個室がある と、プライバシーの面でも安全面でも 良いと思う	ベッドが入る程のトイレスペースがない 為、別室をパーティションで隠すなどで プライバシーを守ります
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24	1		4		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	1		1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	4				
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	4		2		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	1		3		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	1		1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	3		4		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1		2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	4				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	4	3	12		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	6	1	4		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	26	1		2		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	3				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	2		1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	3	1	3	・クリスマス会や夏祭り等、家族全員 で参加出来るイベントがあり、支援と なっていると思う	・今後もイベントを実施し、楽しみなが ら交流していける場を設けていきます

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	3		5		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	2		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	2		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	2		4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	2		4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	1	1	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	2		4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26	1	1	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	3		1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	3		1	・宿題の声掛けが可能であれば、宿題を1つでも終えて帰って来てほしい	・宿題をする時間がある際は声掛けを行っていきます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
チャイルドサポートもりやま		令和 8年 1月 5日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	0	・定員に応じたゆとりある環境で安全に活動できるように配慮している ・1階・2階等空間分けができる	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	0	・定員に応じたゆとりある環境で安全に活動できるように配慮している職員も増え、ゆとりがある ・重心児、重心児以外と状態によっては声を掛け合い、行き来できるようにしている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	0	・絵カードを活用し、見通しを持って行動できるように工夫している ・また視覚から入る情報量が多すぎないように配慮している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	1	・利用時間外で掃除を行っている ・怪我につながらないように机などの配置も考慮している ・チェックリストを用い毎日清掃をしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	0	・クールダウンや痙攣時の対応として個室を利用している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	13	0	・朝礼時に共有や検討事項等を挙げている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	・年2回の保護者面談の際にご意向の確認をし、内容を共有・周知できている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	・3か月に1回職員面談を実施し、業務改善にも努めている ・ミーティング内の検討事項でそれぞれの職員が意見し、話し合えるようにしている ・監査を通じて改善を図っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	0	・毎週木曜日を勉強会の日と定め、実施している	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0	・重心児、重心児以外で共に定め、ホームページで公表されている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13	0	・保護者面談で得たニーズを元に、個別支援計画に反映させている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	・モニタリングの時間を定め、検討されている ・モニタリングの時に職員で意見を出し合い、支援につながるよう検討している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0	・目標の共有がなされ、支援内容や問題について都度話し合っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	1	・日々の記録や職員間の共有を通して児童の変化を把握している ・フォーマルなアセスメントは行っていない	・フォーマルなアセスメントが出来るように、勉強会などを使って共通理解を深めます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0	・児童に応じた支援内容が分かりやすく書かれている ・話し合ってから作成できている	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0	・担当が土台を作り、それをもとに全職員で立案している ・担当が立案し個人で内容を考える。他のメンバーに相談出来る環境である	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0	・担当を中心に皆で意見を出し合って検討している ・児童の姿に合わせて替えたりと工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13	0	・月4回程度、個別学習と称して個別活動を行っている ・状況に応じて個人でじっくり取り組める内容も行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	0	・活動の内容、サポートを要する児童などについては朝のMTGで共有・周知をしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	1	・当日ではないが、振り返りはできている ・後日朝礼にて共有・周知している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0	・毎日記録担当をつけて行っている ・記録は抜けなく記入するようにしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	・半年に1回計画の見直し、立案を行っている ・計画更新時には児童について話す機会を設	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	13	0	・買い物した材料でクッキングをするなど、組み合わせ支援を行っている ・SST、お出かけ、社会体験なども積極的に 行っている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12	1	・絵カードを使用したり、工夫しながら支援をしている ・大人が決めつけず、児童に選択してもらう機会を作っている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0	・基本的には管理者が参画している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	1	・利用児童の学校に参観に行き、共に連携して支援を行えるようにしている ・連携可能なところでは行えている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12	1	・学校から月間予定を頂き、送迎予定を組んでいる。また、参観なども行っている ・学校からのメールやLINEを使用して対策している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	2	・関係者会議があれば参加し、情報共有を行っている ・情報共有シートをもらっている児童もいるが、ない場合もある	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	3	・関係者会議があれば参加し、情報共有を行っている	・計画書は外部の関係者に配布している。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	4	・相談員さんと連携を図り、定期的に情報共有やモニタリングを行っている	・必要に応じて関係者会議を設定し、実施していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	11	2	・他事業所の児童と一緒に活動をする機会がある ・児童館や公園等へは行くが交流はない ・他事業所交流で夏に水遊びを行った	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	11	2	・研修、会議などへの参加をしている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	・送迎時や面談時に伝えており、共通理解を持っている ・毎回送迎時に伝えられている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	7	・職員に向けては行っているが、保護者に向けてはできていない ・現在出来ていない	・家族支援プログラムを全体で話し合い、実施していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0	・契約時に行っている ・契約時に1つずつ丁寧に伝える	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0	・契約時に意向を確認し計画立案をしている ・普段の児童との対話や面談時に保護者さんのご意向を確認し反映させている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13	0	・直接説明をし、同意を得ている ・更新時はなぜその内容にするのか、丁寧に伝える様にしている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0	・必要時、時間を取り面談を行っている ・困りごとを聞いた際は職員と共有し伝え方や内容を検討している	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	12	1	・クリスマス会や夏祭りを毎年開催しており、その中で保護者間やきょうだい児間の交流を図っている ・季節のイベントで普段と異なる活動を行う機会が設けられている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	・窓口となる担当を決めて配置している ・改善できるよう職員間で検討し、その内容を伝える体制を心がけている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	0	・「チャイルド通信」やInstagramに活動内容、予定、連絡を発信している ・毎月の通信や、活動や行事についてSNSで発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	・個人情報の取り扱いに関する同意書を職員に取っている ・事業所内に保管、外部から見えないように工夫をしている ・同意内容(SNS)の確認を怠らないように気をつけている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	・個々の様々なコミュニケーションの取り方を保護者から教えてもらっている ・わかりやすい言葉遣いや、イメージしやすい写真や動画を用いている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	7	・地域住民は招待出来ていないが、地域のごみ拾いや、ハロウィンイベントを行っている ・招待したい気持ちはあるが、それくらいの規模ではできていない	・事業所で行っている行事に参加してもらえ る方法を考え、招待していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0	・マニュアルはあり職員の周知は出来ているが、定期的な訓練はできていない	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0	・定期的に行っている ・児童だけでなく、まずは職員が適切に行動できるよう意識し訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13	0	・契約時に情報収集をしている ・緊急時シミュレーション等で定期的に確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0	・内服の服用など職員間で周知できている ・家族の指示をもとに対応できるよう共有している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0	・定期的に研修や訓練が行われている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	2	・家族への周知はできていない ・月1回行っている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	・朝礼時に共有し、対策について検討している ・面談時に説明している ・数か月後に対策案はどうか振り返る場を設けている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	・定期的に研修を行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13	0	・契約時に伝えた上で計画に記載している ・職員間でどの児童に記載しているか共有して、身体拘束に対する意識を高めている	